校長室だより NO.　２６ 平成30年９月３日	すべては光る	梅園小学校長 たか　す　りょうへい 髙　須　亮　平

「人のことを大切にして聞く」ことで充実を図る２学期に

９月３日（月）、４０日にも及ぶ長い夏休みが終わり、子どもたちが学校にそろいました。平成３０年度２学期のスタートです。そして、学校の至る所で子どもたちの歓声が戻ってきました。そのような中で、教室をはじめとした学校の学びの環境は、８月１８日（土）のＰＴＡ奉仕活動のおかげでとてもきれいに整い、気持ちのよいスタートとなりました。多くの保護者の方々のご支援に感謝いたします。

防災・体育館での避難所体験（4年2組）

さて、この２学期は、気候も穏やかになることから、学習・行事面で子どもの心や体を育てるチャンスとなる時期です。そこで、特に、２学期は、「個人としての能力を伸ばすこと（個の成長）」、「人や社会とのかかわる（社会性の醸成）中での優しさを広げること」の２点を明確にした取り組みを行いたいと考えています。そのためには何が大切で、どのように指導していくか、それが大きなポイントとなるところです。

まずは、これまでも目指してきましたが、子ども一人一人が「自分に対する信頼（自信）」を持つことが大切です。「自分にはよいところがある」、「私は一人の大切な人間である」と思える気持ちを持つことができるかということです。その要因となるのが、まわりから認められているという意識です。例えば、学校でのこれまでの「ふわふわ言葉」を子ども同士が互いにかけ合ったり、よさを見つけ合ったりする活動によるものです。つまりは、まわりからの子どもへの「勇気づけ」によって抱くことができる意識になります。もちろん家庭での保護者の皆さんからの愛情も大きなウエイトを持つことは言うまでもありません。

夏休みのPTA奉仕活動に感謝します

ここで、１学期の子どもたちの生活アンケート調査を振り返りますと、「学校が楽しい」と思う要因として顕著なものが「学習の充実」と「友達とのかかわりの楽しさ」の２つがあげられていました。それらは、個人としての能力の伸長（個の成長）であり、友達とのかかわりの中での優しさの広がり（社会性の醸成）に関係するものです。だからこそ、自分に対する信頼（自信）が大切となります。前述したことは、まさに２学期の梅園小学校の子どもたちの状況にそのまま当てはまっていると言えます。

そこで、この２学期に指導をしていく視点として、これまでの「ふわふわ言葉」の活動に加え、「人のことを大切にして聞く」ことの共有と徹底を図りたいと考えています。与える側だけでなく、それを受ける身となる側の心構えからも考えています。そのことは、右ページの図のように構想することができます。全校体制として「人の

ことを大切にして聞く」ことの指導により、学習面では「学習規律」を、友達とのかかわりの面では「生活規範」の意識化を図ります。それが、それぞれ「分かろうとして聞く」こと、「人の思いに寄り添って聞く」ことというような意欲的な姿となることを目指します。そして、それらは「考えを伝え合う」、「自己理解・他者理解をする」という実践につながっていきます。そのことを通して、「個の伸長」、「社会性の醸成」をねらい、子どもたち一人一人が「学校が楽しい」と思えるようにしていきたいと思います。

2学期の教育の構想

そのようなことから、２学期は、全校で「人のことを大切にして聞く」指導の実践を通して、その一点突破により全面展開ができるように考えています。

具体的な２学期の学習・行事について、まず、９月は、夏休みから延期された「小学校球技大会」（２３・２９・３０日）があります。５・６年を中心に目標を持って力を合わせてきた努力の成果を発揮する場となります。是非とも応援し、支えたいと思います。

夏休みの少年消防クラブ一日体験入学

１０月は、２学期のメインの行事とも言える「学芸会」（１３日）があります。学年・学級で目指す子どもの姿をテーマとして、子どもたちの確かな育ちを見通した取り組みをしていきたいと思います。具体的には子どもたちの表現力を育てることを通して、学年・学級で互いを認め合い、勇気づけ合う気持ちを育てることを目指します。また、５年「山の学習」（２３～２５日）もあります。５年生が親元を離れて２泊３日の野外活動をします。これは、最高学年の６年への登竜門と位置づけ、「自分のことは自分で行う」、「友達と力を合わせる」ことを活動を通して身に付ける中で、新たな自分を見いだしてくれることを期待しています。この学芸会・山の学習で、前述した「人のことを大切にして聞く」ことの成果が活動となって見られることを楽しみにしています。

１１月は、６年「修学旅行」（１２・１３日）があります。京都・奈良を１泊２日で旅行します。６年生にとっては大きな楽しみであり、すばらしい思い出となることでしょう。この旅行を通して、学年としての団結をさらに深め、そして、卒業期へと向かう中で、学校への思いを新たに考えることができるでしょう。総合的な学習の発表の意味を含めた「梅園プライドフェスティバル」（２２日）もあります。これは、子どもたちが目標を持った取り組みとして、学級・学年での活動の成果を表す学びの場としても位置づけています。

１２月には、学習面での「やれ検」（４日）、「マラソン大会」（６日）があり、その後「なわとび検定」に取り組み、個の能力に応じた冬の体力づくりを図っていきます。

このように２学期を通して、一人一人の目標を明確にして、それを目指した粘り強い努力、互いを認め合える充実した生活をめざしていきたいと考えています。

裏面へ

音楽部のがんばりに拍手　　Ｎコン県コンクール銀賞受賞

８月２１日（火）、ＮＨＫ全国学校音楽コンクール県コンクールが稲沢市民会館で開催され、音楽部がきれいな歌声の演奏を披露しました。結果は、健闘をして銀賞を受賞しましたが、上位コンクール出場がはばまれてしまいました。高い目標を持って努力をしてきましたので、それが達成できずとても残念でしたが、まだ次のＣＢＣのコンクールがありますので、この悔しさをバネにして、さらなる努力を期待します。

音楽部の次のコンクールでの活躍を期待します

右に、詩人の山本よしきさんの詩「ピンチの裏側」を載せました。ものごとは、すべて自分の思うように行くことばかりではありません。思うように行かないピンチのときこそ、何をするかが問われます。簡単にあきらめるのではなく、ピンチは自分の力を高めてくれるもので、その裏側には必ずチャンスが待っているのです。そのピンチをチャンスに変える努力こそが大切なのです。そんなことをこの詩は教えてくれます。

ピンチの裏側

神様は決して
ピンチだけをお与えにならない
ピンチの裏側に必ず
ピンチと同じ大きさの
チャンスを用意して下さっていて
グチをこぼしたり
ヤケを起こすと
チャンスを見つける目がくもり
ピンチを切り抜けるエネルギー
さえ失してしまう
ピンチはチャンス
どっしりかまえて
ピンチの裏側に用意されている
チャンスを見つけよう

これから、音楽部を含め、６年生を中心とした部活動は、９月末の大会を目指して練習を積み上げていきます。「ピンチはチャンス」と信じ、がんばっていきましょう。

市イングリッシュ・フェスティバルで「ふわふわの木」の活動を発表

８月１７日（金）、市イングリッシュ・フェスティバルが市総合学習センターで開催されました。本校の代表として梅村彩音さん（６年１組）、石川誉子さん（６年２組）の２人がスキットで「ふわふわの木」の活動を英語で発表しました。

イングリッシュ・フェスティバルでのスキット

そのスキットの内容は右ページに記載しました。１学期、「梅っ子スマイル」の委員会を中心に、梅園小学校全員で優しい心の学校をつくろうとしてきた取り組みを、分かりやすい英語の発音で多くの人の前で堂々と話すことができました。「ふわふわの木」の活動は、本校の特徴的な活動です。そのことを自慢げに紹介し、楽しく伝える２人のスキットからも優しさを感じ、とてもうれしくなりました。

○ 岡崎市小中学生イングリッシュ・フェスティバルでのスキット文

A： Ayane Umemura　　B： Takako Ishikawa

A： I am feeling kind of lonely today.
B： Ayane, let's play together.
A： Thank you! I am going to write about it on this leaf.
B： Why?
A： Oh, it's for the "Fuwa Fuwa Tree".
B： A "Fuwa Fuwa Tree"? What's that?
A： At Umezono when friends give you kind words,
we write it on a paper leaf.
B： I see. So,more leaves, more kindness.
A： That is right. We announce them druring lunch time at school.
B： Do we post the leaf on this tree?
A： Yes! Let's finish the "Fuwa Fuwa Tree" together.
AB： Ta da! We hope Umezono is filled with love and kindness.

A： 梅村　彩音　　B： 石川　誉子

A： あ～今日も一人でさみしいなあ。
B： あやねちゃん。いっしょに遊ぼう。
A： ありがとう。遊びに誘ってくれたたかこちゃんのことを葉っぱに書いてこの木に貼ろう！
B： どうして？
A： ああ、「ふわふわの木」に貼ろうと思ってね。
B： 「ふわふわの木」？　なにそれ？
A： 梅園小学校では、友達に優しい言葉をかけたり、「ふわふわ言葉」を言ってくれたりした子を葉っぱに書くんだ。
B： なるほど！　葉っぱの数だけいい行動があると言うことなんだね！
A： その通り。お昼の放送で葉っぱを読み上げて発表したりするんだよ。
B： 書いた後は、この木に貼るのかな？
A： そうだよ。いっしょに「ふわふわの木」を完成させよう。
AB： じゃーん！　梅園小学校が優しさでいっぱいになりますように。